

学校評価【教員アンケート結果・総評】

A. 学習指導【①教育課程・指導体制、②学習・学力について】

本校は、国語・数学・英語の3教科について習熟度別クラス編成を実施している。学力が高いクラスでは、内容の深いところまで指導し、学力の低いクラスでは、基礎基本を重視した指導を行っている。しかし、どのクラスにもボーダーラインの生徒をおり、その生徒にとっては、難しすぎたり簡単すぎたりしている現実がある。今後、この生徒達をどのように導くかが課題である。実技教科では、基礎基本をもとに実務に即使える技術を学ぶカリキュラムになっていることから、一定の成果を上げている。

B. 生徒指導【①指導体制、②学校生活】

担任・学年・生活指導部の連携のもと、安全安心な学校生活の確保を優先し、生徒指導に当たっている。基本的な生活習慣の確立は、入学時より指導し、日々の学校生活の中でも繰り返し指導を行っている。しかし、公衆道徳や校則の遵守の点では、それを実践することが出来ず、毎年謹慎処分になる生徒が起きる。粘り強く非行防止に努めることがこれからの課題である。

C. 進路指導【①キャリアガイダンス、②進路状況】

ここ数年問題になっているのが、離職問題である。1年経たないうちに離職してしまう。理由は、様々だが就職に対する意識の低下が問題である。そのため、本校では1年次より、体系的・系統的に進路指導に取り組んでいる。3年生になっても進路意識の低い生徒がおり、進路決定に長い時間をかけて指導している。

D. 施設の維持管理【①点検・改善、②維持・管理】

法令に定められた防火設備の点検などは定期的実施している。校舎の老朽化については、去年6月からの改装工事により、傷んでいた床・壁、照明の暗さも一新され、誰が見ても新しく綺麗な状態になった。これからは、この綺麗さを維持するためにどのような対策をとり、実践するかが課題である。

E. 危機管理体制【①生徒の安全管理、②防災体制】

登下校の安全、生徒の事故・病気時の緊急対応は機能している。また、防災訓練・避難訓練は、毎年9月に実施しており、避難経路を生徒に確認させている。但し、災害時の備蓄（飲料水など）については、充分であるとは言えず、検討、改善が必要だと考える。

F. 学校行事

学校の方針と目標に沿って、行事の時期が設定され、生徒の能力・体力に応じて宿泊行事の日数などが考慮されている。生徒の興味・関心を広げる行事が設定され、積極的に参加し主体的に動けるように計画している。生徒の主体性を養うため、あまり担任が直接指導するのではなく、一步引いた状態で見守る姿勢から主体性・自立心を養う。

G. 公開性及び外部への対応【①保護者対象、②一般対象】

各学期末に保護者懇談を実施、各宿泊行事前には進路説明会と合宿説明会を行っている。併せて6月初めに公開授業と外部講師を招いての進路講演を実施している。一方、ホームページを通じての発信が弱く今後の課題である。